

浜の勢い 観客圧倒

さかなまつりに1万人

さかなまつり（市漁業協同組合主催）は7月26日、市営魚市場で開催。浜のうまいものが勢ぞろいした会場に1万人が殺到しました。漁船



手際よくさばかれていくホンマグロ。観客の視線も釘付けです

の海上パレードや芸能・歌謡ショーなど、まつりは催し盛りだくさん。中でもホンマグロの解体ショーには一際大きな人だかりが。さばかれたマグロは格安で販売され、大勢の人が競って買い求めていました。

仙台市から夫婦で訪れた西村朋美さんは「浜の勢いと盛り上がりで圧倒。新鮮な魚も買って大満足です」と買い物袋を抱え、うれしそうに話していました。



さすがの腕前！ 巣もぐりで採ったばかりの新鮮なウニが観客に振る舞われました



ラジオドラマ北限の海女を聴く会では約20人が海女の世界に聴き入っていました



「ウリヤー！」みんな必死のウニ採り名人戦。水槽の中にくっつく腕を伸ばし、たくさんのウニをすくい上げていました

小袖の魅力に大満足

北限の海女フェスティバル

20回目となる北限の海女フェスティバルは8月2日、小袖漁港周辺で開かれました。ウニやホヤなど新鮮な海産物がずらりと並んだ会場では、海女の巣もぐり実演や定置網船の遊覧体験などさまざまな催しが。小袖ならではの魅力を大勢の人が満喫しました。

栃木県から家族4人で訪れた伊藤善行さんは「目当ては海女さん。実演も見られ、ウニも食べられて大満足」と笑顔。実行委員会の村塚繁好会長は「お客さんの反応が地元の力になる。今後もまつりを続けていきたい」と汗をぬぐいながら話していました。

同日、やませ土風館では久慈の海女を一躍有名にしたラジオドラマ北限の海女の放送50周年を記念した「聴く会」が。約20人が海女などの資料に囲まれながらドラマを聴き、海女の世界に思いをはせました。

まちの話題をおすそ分け 広報リポーターの突撃取材！

子どもみこし 盛んな声援



元気良く町内を練り歩いた子どもたち

8月2日、湊夏祭りを開催。子どもたちは、元気良く声を掛けながら、2台のみこしをかついで町内を練り歩きました。沿道に集まった人たちは、子どもたちに盛んな声援。町内中が祭りで大いに盛り上がりました。（生平隆リポーター）

でなにやとやら 日中友好



日中友好に役。踊り方は町民が事前指導

備前夏まつりは8月14日、大川目中で開催され、1,000人超の人出でにぎわいました。懸賞なやとやら大会には中国人研修生12人も参加。研修生は見事な踊りで演技賞などを獲得し、温かい町民に感謝していました。（小倉利之リポーター）

地域総出にぎわう夏

ガタゴンまつりに2,000人



元気な掛け声に導かれ、にぎやかに商店街を練り歩いた山車

地域が一体となって盛り上げるガタゴンまつり（同実行委員会主催）は8月18日、川井商店街とガタゴン広場を会場に開催。山形町の夏が2,000人でにぎわいました。まさに地域総出。流し踊りやステージ発表など、まつりに参加したのは計49団体。商店街では、ガタゴンのタマゴの模型が飾られた山車や、みこしなどのパレードが行われました。観客は、目の前を山車などが通るたびに盛んに拍手。にぎやかなまちの姿に皆、笑顔を広げていました。

パレードの後はガタゴン広場で郷土芸能などの発表が。締めくくりに盆踊り大会では、みんなで踊りの輪をつくり、まつりのにぎわいを楽しんでいました。

歩いて発見よい景観

いわて景観フォーラムin久慈

まちの魅力の再発見を目的とした、いわて景観フォーラムin久慈は8月8日、やませ土風館で開催されました。市内外から参加した約50人は、はじめに5班に分かれて街なかを中心に市内を散策。町並みや景観を内外の視点で確認して歩きました。散策後のワークショップでは、歩いて気付いた町並みの良い点や改善点を班ごとに発表。「レトロな町並みが良い」、「街に近く、緑が多い巽山公園はもっと活用できる」など、さまざまな意見で盛り上がりました。

主催した県都市計画課の西尾高登まちづくり課長は「今回感じたことを、まちのよりよい景観に生かせるよう頑張ってもらいたい」と期待を込めていました。



街なかを歩いて集めた情報や意見を地図にまとめる参加者

32年ぶり笑顔で再開

長内小でタイムカプセル開封



小学6年生の自分と再会。皆、照れながらも大喜び

昭和52年度の長内小学校卒業生79人が卒業記念碑「思い出の塔」に詰め込んだタイムカプセル。8月14日、卒業生ら約30人が母校に集合し、32年の時を経て、思い出の品との再会を果たしました。ハンマーで割った塔の中から大小6つの箱が取り出されると皆、一斉に大歓声。当時の似顔絵やノート、おもちゃなどと対面した参加者は、子どものような笑顔を広げ、思い出を語り合っていました。

実行委員長として準備を進めた和野明彦さんは「徐々に再会し当時の記憶がよみがえるよう。これをきっかけに、同級生とのつながりも強くなれば」と笑顔を見せていました。